

10 図書・学術情報に関する事項

図書館では、教育及び研究に必要な図書並びに学術情報について、「2007 年度 図書収書計画」に基づき精力的に選書・収集するとともに、これら資料を利用者が効率的・効果的に活用できるように各種説明会及び講習会を実施した。

ハード面では、2006 年度から引き続き学外（自宅等）からデータベース等が利用できる環境の構築や、視聴覚機器及び什器のリプレイスを行った。2008 年度には、深草図書館および瀬田図書館の入退館ゲートのリプレイスを行う予定である。

また、2005 年度から 2 年間にわたり就任した私立大学図書館協会（私立大学図書館で構成される団体：加盟 506 校）の会長校の任期を終えたが、引き続き 2007 年度からは監事校（任期 2 年）として私立大学図書館の諸活動をサポートすることとなった。

1) 図書・学術情報を活用した教育支援

●新入生オリエンテーションの実施

深草及び瀬田図書館では、例年どおり新入生のオリエンテーションにおいて、図書館の概要、図書館の使い方、資料検索方法等、図書館を利用する上での基本的な事項の説明会を開催した。さらに、希望者には図書館の利用方法や実際の資料の排架場所等を案内する図書館ツアーを実施した。

●各種データベース講習会の実施

学部生や大学院生を対象に、図書館が導入しているオンラインデータベースを用いて、図書・雑誌・論文・新聞記事等の基本的な調べ方や、レポート・論文作成・企業情報収集のための情報検索法について、情報メディアセンターと連携して講習会を定期的に開催した。

●学生用図書の充実

図書館では専任事務職員が積極的に選書を行い、「図書収書計画」に基づく学習用図書及び基本図書の収集に努め、これらを広く利用者に供してきた。また、学生からの「希望図書」、教職員からの「推薦図書」の制度を活用し、学生用図書の充実を図った。併せて、深草図書館においては、学生アルバイト業務に選書を加え、学生からの声を反映させる体制を強化した。

●視聴覚設備の充実

深草図書館において、視聴覚コーナーの機器の充実を図るため、視聴覚機器のリプレイスを行った。

●図書館報『来・ぶらり』No.35（5 月）、No.36（9 月）を発行した。

2) 図書・学術情報を活用した研究支援

●電子資料の充実

従来は 40 種類のデータベースと約 1,800 タイトルの電子ジャーナルを利用可能としてきたが、2007 年度には新たに「Gale Virtual Reference Library (e-book)」を導入し、利用環境の充実を図った。また、法科大学院ロー・ライブラリアンと協働で「新法・改正法解説記事書誌情報検索 (R-LINE) データベース」を構築し、レファレンス・ツールの充実を図った。

●外部データベースへの学外（自宅等）からのアクセス

電子ジャーナルや学術データベース等の利用を促進するため、学外（自宅等）からこれら電子資料へアクセスが行える環境を整備した。

●大学教育開発センターと連携し、新任教育職員対象の図書館利用説明会を実施した。

●古典籍デジタルアーカイブ研究センターと連携し、古典籍のデジタルアーカイブ化をおこなった。

3) 図書・学術情報利用環境の整備

●図書等資料の充実（資料整備）

2007 年度は、内外等併せて約 4 万点の資料を「図書収書計画」に基づき計画的に収集した。その結果、図書館の所蔵資料数は約 182 万冊となった。

●瀬田図書館新書庫スペースの確保及びその運用

瀬田学舎智光館内に確保された書庫スペースに、約 37 万冊収蔵できる自動化書庫を設置し、一部収納をはかった。

●深草図書館 什器・瀬田図書館 視聴覚機器のリプレイス

老朽化の著しい深草図書館の什器（4 年間の年次計画）および瀬田図書館視聴覚機器のリプレイスを行った。

●深草図書館貴重図書保存修復の実施

深草図書館が所蔵する貴重書の保存・修復事業をおこなった。

●深草図書館雑誌架の増設

雑誌架の増設を行い、利用頻度の高い製本雑誌の排架スペースを確保した。また、増設した雑誌架を利用し、目録類を一ヶ所に集めることにより利用者の利便性の向上を図った。

●深草図書館視聴覚コーナー機器のリプレイス

設備の老朽化により故障が多発していた視聴覚機器のリプレイスを行い、利用環境の充実を図った。

●深草図書館AVルームプロジェクターのリプレイス

学生のリクエストによるビデオ上映会等を定期的に行っているが、その設備が老朽化しているため、器材の入れ替えを行い、利用環境の充実を図った。

●日曜開館の実施

2006 年度に引き続き、深草、大宮・瀬田図書館で日曜開館を実施し、学生等の教育環境の整備を図った。

4) 図書・学術資料の公開と施設の開放

●図書・学術資料の展観

大宮図書館では、本学教職員・学生、また一般市民も対象として、春季・秋季ごとにテーマ定め本学が所蔵する図書・学術資料を公開している。2007 年度は次のとおり実施した。

春期：宗祖降誕会特別展「時を超える親鸞聖人像」

秋季：「龍谷デジタルアーカイブの世界—科学の眼で（みる）（はかる）（まもる）—」

また、深草図書館では、適宜ミニ展観をとおして図書・学術資料の公開を実施している。2007 年度は次のとおり実施した。

第1回：「明治・大正を彩るブックデザイナー―復刻版でみる名作―」

第2回：長尾文庫 引札コレクション「甦る古（いにしえ）の広告媒体」

第3回：「2007年ノーベル賞受賞者とその著作」

第4回：「PUNCH―ヴィクトリア朝時代の諷刺週刊雑誌―」

●Web 上でのコレクションの公開

図書館ホームページ上で「龍谷大学図書館コレクション」を公開した。

●施設開放

図書館（深草・大宮・瀬田）では、REC 会員の方を対象として、本学卒業生と同等の施設の開放と図書・学術資料の閲覧・貸出を行ってきた。さらに 2007 年度からは瀬田図書館で滋賀県内の高校生への図書館の施設開放を実施した。